資 料 提 供	
平成25年10月10日	
担 当 課	中部総合事務所福祉保健局 (倉吉保健所)
(担当者)	健康支援課 (坂本・大下)
電 話	0858-23-3145

中部総合事務所管内における腸管出血性大腸菌感染症（O157）の発生
（第1報）

10月10日、倉吉市内の医療機関から中部総合事務所福祉保健局へ腸管出血性大腸菌感染症の発生の届出がありました。

なお、平成25年の本症の県内発生は24例目です。

1 患者の状況

	項 目	内 容
24	患 者	幼児（男）
		住 所 地 倉吉市内
	菌 の 種 類	腸管出血性大腸菌 O157（ベロ毒素産生）
	検 査 機 関	医療機関
	経 過	10月7日 腹痛、発熱、水様性下痢 医療機関を受診 10月10日 検便の結果、O157ベロ毒素産生が判明 現在、症状は快方に向かっている

2 今後の対応

中部総合事務所において、感染源や他の有症者の有無等について調査を行うとともに、二次感染予防を徹底する。

※ 患者のプライバシーの確保に十分な配慮をお願いします。

報道機関各位におかれましては、以下の啓発についてよろしくお願いします。

- 食品の加熱は十分に行ってください。
- 調理をする際、食事の前には、十分に手洗いをしてください。
- 下痢症状があった場合は、排便後の手洗いを十分に行うとともに、速やかに医療機関を受診してください。
- 焼き肉・バーベキューの際のトング等の使い方で、生肉と焼けた肉等の共用は避けましょう。

※ この資料は、倉吉記者クラブにも提供しています。

〈参考事項〉

1 腸管出血性大腸菌感染症の平成25年における発生状況（平成25年9月29日現在）

○全 国：3209名

2 鳥取県の状況（平成25年10月9日現在）

（単位：人）

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成21年						2 (2)	1		2				5 (2)
平成22年							3	10 (5)	2 (1)		6 (1)		21 (7)
平成23年				1	5 (2)	3 (2)		2 (1)	3 (1)	4 (2)	1	1	20 (8)
平成24年						2	1	5 (1)		6 (2)		1	15 (3)
平成25年		1 (1)			1		6	7 (3)	4 (1)	5 (2)			24 (7)

*（ ）内数は健康保菌者、再掲。

3 平成25年の発生状況（平成25年10月9日現在）

菌の 陰性化	一連 番号	管轄事務所	性別	症状の有無	菌 型	検出月日	第1報 発表日
○	1	中部総合事務所	男	健康保菌者	○型不明	2月15日	2月15日
○	2	東部福祉保健事務所	男	有 症 者	○157	5月 6日	5月 6日
○	3	西部総合事務所	男	有 症 者	○121	7月 8日	7月 8日
○	4	西部総合事務所	男	有 症 者	○157	7月19日	7月19日
○	5	東部福祉保健事務所	男	有 症 者	○157	7月29日	7月29日
○	6	西部総合事務所	男	有 症 者	○157	7月29日	7月29日
○	7	中部総合事務所	女	有 症 者	○157	7月26日	7月30日
○	8	中部総合事務所	女	有 症 者	○157	7月30日	7月30日
○	9	東部福祉保健事務所	女	健康保菌者	○157	8月 1日	8月 1日
○	10	中部総合事務所	男	健康保菌者	○157	8月 2日	8月 2日
○	11	中部総合事務所	男	健康保菌者	○157	8月 2日	8月 2日
○	12	西部総合事務所	男	有 症 者	○157	8月 7日	8月 7日
○	13	中部総合事務所	女	有 症 者	○157	8月12日	8月12日
○	14	西部総合事務所	男	有 症 者	○157	8月14日	8月14日
○	15	西部総合事務所	女	有 症 者	○157	8月22日	8月22日
○	16	西部総合事務所	女	有 症 者	○26	9月 4日	9月 4日
○	17	西部総合事務所	男	有 症 者	○26	9月 7日	9月 4日
○	18	西部総合事務所	男	健康保菌者	○26	9月11日	9月 4日
○	19	東部福祉保健事務所	女	有 症 者	○157	9月26日	9月26日
	20	西部総合事務所	男	有 症 者	○157	10月3日	10月3日
	21	西部総合事務所	男	有 症 者	○157	10月5日	10月5日
	22	西部総合事務所	女	健康保菌者	○157	10月8日	10月5日
	23	西部総合事務所	女	健康保菌者	○157	10月9日	10月3日
	24	中部総合事務所	男	有 症 者	○157	10月10日	10月10日